

令和8年2月27日

山形県立

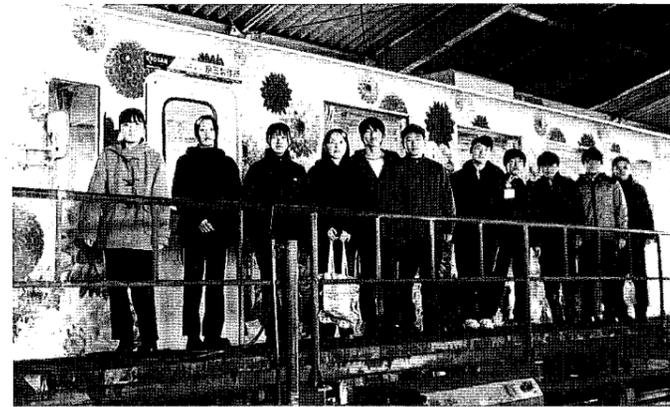
第64号

荒砥高等学校同窓会報

発行：山形県立荒砥高等学校同窓会
 事務局：県立荒砥高等学校内
 〒992-0831 白鷹町荒砥甲367
 電話：0238-85-2171 Fax：0238-85-2823
 URL http://www.arato-h.ed.jp

荒高生の活躍

- 陸上部
 - 県高校総体 女子 100m・200m 伊藤 心結 出場
 - 県高校新人大会 男子 走幅跳 齋藤 怜士 出場
 - 女子 砲丸投 村上 瑠莉 第6位
- 卓球部
 - 全日本卓球選手権大会山形県予選会 女子シングルス 岩崎 琴音 出場
- 吹奏楽部
 - 置賜地区アンサンブルコンテスト 管楽三重奏 銅賞
- 総合文化部 囲碁班
 - 全国高校囲碁選手権大会山形県大会 女子個人 第一位 吉村 真央 県代表
 - 第二位 村上 愛海 県代表
 - 第三位 石田 彩花 県代表
- 全国高校囲碁選手権大会
 - 女子団体 石田 彩花・佐藤 日向・青木 七海 出場
 - 女子個人 吉村 真央 出場
 - 村上 愛海 出場
- 全国高総文祭囲碁大会
 - 団体(県代表チーム) 村上 愛海 出場
 - 吉村 真央 出場
- 県高総文祭囲碁部門
 - 女子個人 総合文化祭賞 第一位 青木 七海 県代表
 - 第二位 村上 愛海 県代表
 - 第三位 佐藤 日向 県代表
 - 高文連賞 第一位 青木 七海 県代表
 - 第二位 村上 愛海 県代表
 - 第三位 佐藤 日向 県代表
- 東北高校囲碁選手権
 - 女子団体 第三位 青木 七海・村上 愛海・佐藤 日向
 - 女子個人 青木 七海 東北代表
- 総合文化部 美術班
 - 県高校美術展 油彩画の部 努力賞 横沢 さくら
 - 各種コンクールなど 入選 佐藤 日向
 - 税に関する高校生の作文 童門冬二賞 岩崎 琴音
 - 白鷹町読書感想文コンクール 教育長賞 高橋 倅



2025.12.6 フラワー長井線清掃ボランティア
感謝の気持ちを 長井工業高校の生徒の皆さんとコラボ



2025.10.4 フラワー長井線を盛り上げる企画
「駅からハイキング 白鷹町の魅力ツアー」



2025.11.2 白鷹町産業フェア2025(白鷹町役場)
町内産材を使用した「おこわ飯」と「から揚げ」を販売



2025.7.16 今年も紅花摘み
全校生でボランティア(中山地内)

地域の学校です!

令和7年度卒業生 同窓会評議員名簿

地区名	氏名
白鷹東地区	佐竹 和也
白鷹西地区	川田 大夢
長井他地区	伊藤 心結

令和7年度卒業生進路状況 令和8年1月31日現在

進路先	人数			割合		前年度実績			
	男子	女子	合計	部門毎	全体	人数	全体%		
就職	管内	白鷹	4	3	7	43.8%	23.3%	7	50.0%
		長井	3	0	3	18.8%	10.0%	2	14.3%
		飯豊	1	1	2	12.5%	6.7%	0	0.0%
		管内計	8	4	12	75.0%	40.0%	9	64.3%
	その他県内	2	1	3	18.8%	10.0%	0	0.0%	
	県外	0	0	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	
公務員	1	0	1	6.3%	3.3%	0	0.0%		
就職計	11	5	16	100.0%	53.3%	9	64.3%		
進学	大学	0	1	1	7.7%	3.3%	2	14.3%	
	短期大学	0	3	3	23.1%	10.0%	0	0.0%	
	高専・医技専等	0	1	1	7.7%	3.3%	0	0.0%	
	産技短等	0	0	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	
	専門学校等	3	5	8	61.5%	26.7%	3	21.4%	
進学計	3	10	13	100.0%	43.3%	5	35.7%		
その他・未定	0	1	1		3.3%	0	0.0%		
卒業生数	14	16	30		100.0%	14	100.0%		

・端数が合わない場合もあります

あとがき
 この冬は「最強
 最長寒波」という
 言葉をよく耳に
 しました。全国各
 地で豪雪被害が
 相次いで発生し
 ました。被害を受
 けられた方にお
 見舞い申し上げます。
 中、突如、衆議院
 選挙が行われま
 した。卒業生の中
 には初投票の方
 もおられたこと

歓迎のあいさつ

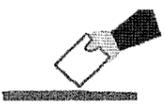


同窓会長 青木彰榮

「ご卒業おめでとうござい
 ます。そして、荒砥高等学校同窓会へ
 の入会を心から歓迎いたします。
 さて、昭和23年に創設された荒砥高
 校は、人間で言えば「喜寿」にあたる77
 周年を迎えました。創立以来、「地域の学
 校」として、教職員はじめ、行政機関、
 学校後援会・PTA・地域・同窓会
 の方々にお支えしていただいております。
 とに衷心より感謝申し上げます。
 県教委から少子化のための「県立高校
 の将来のあり方」が示され、平成16年頃
 より、「荒高存続」のための民間主導の活
 動、運動が展開され、近年は、県内でも
 突出した町からの支援があり現在に至
 っております。教職員の方々からは、小
 規模校だからこそその生徒一人ひとりに
 寄り添ったきめ細やかな指導をしてい
 ただいておられると思っております。
 同窓会としても「荒高存続」を念頭に
 さらなる活動を活性化させるため、今年
 度から活動費を確保するため賛助金を
 募ることといたしました。ご協力賜れ
 ば幸いです。
 結びに、洋々たる卒業生の皆さんの今
 後のご活躍を祈念いたします。

克己 復禮

同窓生総数
9458名





見違えるような成長を遂げる荒高生

校長 石田 充

荒砥高等学校同窓会の皆様には、日頃より、本校教育活動に対し温かいご理解とご協力を賜っておりまして、心から感謝申し上げます。

創立77周年を迎えた令和七年度は、新たに37名の新入生を迎え、生徒会スローガン「優言実行」を合言葉に、全校生90名でスタートしました。

学校生活では、日頃の学習は勿論、部活動、ボランティア活動、資格取得など、それぞれの生徒が目標をもって熱心に取り組まれました。荒高三大行事であるスポーツ祭、荒高祭、クラスマッチは、生徒会が中心となって工夫を凝らし、大いに盛り上がったイベントとなりました。今年度も保護者や関係者、地域の方々等にその様子を参観

十月には、フラワ十長井線を盛り上げる企画「駅からハイキング」を授業の一環として実施し、約30人のお客様を生徒達がおもてなししました。来年度も実施しますので、同窓会の皆様是非ご参加いただけます幸いです。

また、1年生の町内産業学習や2年生の就業体験なども町商工会や各事業所の温かいご協力のもと、各自が将来を見据えたキャリア形成に取り組みました。2年生の修学旅行も、白鷹町の絶大なご支援のもと、大阪、京都を巡り、素晴らしい旅を実現することができました。現在、3年生はほぼ進路希望を実現し、高校生活の仕上げに取り組んでいます。

荒砥高校の一番の魅力は、白鷹町を始めとする地域の皆様、同窓会、後援の皆さまからのご支援のもと、生徒達が入学してから卒業するまでに、見違えるような成長を遂げることにあります。このような生徒達の成長ぶり等について、同窓会の皆様をはじめとして様々情報発信をしていただいているお蔭で、多くの方々より荒砥高校に高い評価をいただいております。令和八年度も生徒一人ひとりが輝く学校を目指すことで魅力あふれる学校となるよう、教職員一同精一杯励んでまいります。同窓会の皆様におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。ご発展と皆様のご健勝を祈念いたします。



荒高生だった頃

小谷部 仁 (昭和51年度卒業)

高校卒業してから49年。本当にあったことなのか、思い込んだ記憶なのか？記憶は限りなく頼りなくなってきた。昭和49年、木造の荒砥高校に入学した。校舎は古く、みすぼらしく、薄汚れて見えた。入学して間もなく応援練習が始まった。練習は、長く厳しく、うんざりした。4月なのに五月病のような気分。ため息がでた。そんなマインスの記憶が最初に浮かんできた。

特に抱負もなく、誘われるまま剣道部に入部した。ちまたで、しらせ世代とか三無主義と呼ばれた年代でぱっとしないのが取り柄なのかもしれない。そして、荒高剣道部の青春の充実した部室と古い防具たちの香りに囲まれた部活動と後で楽しい学校生活が始まった。荒高を選んだのは、一番近くて中学の親しい友人た

ちと一緒だからと、全く主体性や夢のない動機だった。

先生たちは個性派揃いで、人生をやけどしそうで、熱く語ってくれた先生や数学の赤点を作文で見逃してくれた先生などがおられた。「楽しかったなあ、恵まれてたなあ。」としみじみ思ったものである。同級生は面白いやつが多く、何で荒高に入っただろうかと思う秀才から、なんで荒高に入れたんだろうかと思われる特殊な才能をもつ人まで、色々ないたなあ。「思い出話」を思い出すのに四苦八苦していたら、妻から「仲良しグループで学校サボってあの名所「三ツ滝」で流しそうめんして食ったとか、近くのたまり場の店で鯛焼き食ったな。」などの話が出て、挙げ句には、教室の外壁に鳥が巣を作り、ダニが大発生し、被害者も発生！

教室をダニに明渡して別の教室に移転したなど色々でてきた。剣道部に入った頃、武道館はなく、体育館で区切られての練習。防具を着けたままバック宙して小手を決めるなど、常識外れの先輩もいたなあ。ロードワーク、出発したまま道草して帰ってこない連中、何してたんだか。武道館ができたのも増え、経験者も入部してきて部活らしくなってきた。三年間、たいした成績も残せなかったが、部活動の思い出は大切なものとして残っている。

荒高の持つ深い懐と仲間たちの声につつまれて、すごく恵まれた高校生活とその後の人生だったなあ。おしまい。



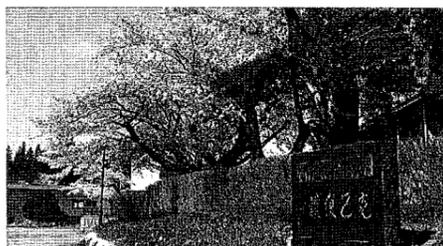
伊藤 心結
荒砥高校で過ごした3年間は、毎日が本当に楽しかった。放課後、生徒会で遅くまで残ったこと、友達とお菓子パーティーをしたこと、火起こしから始まる芋煮会や学校を囲む桜を見ながら団子を食べるお花見など、どれも大切な思い出です。一方で、部活動の大会や初めて務めた生徒会長としての責任に、不安や

寄稿 卒業生から

新野 美生

生徒会副会長として活動する中で、思い通りにいかず悩んだり、責任の重さに不安を感じたりすることもありました。しかし、そのような時こそ執行部の仲間と何度も話し合い、お互いに意見を出し合いながら支え合うことで、一つ一つの課題を乗り越えることができました。うまくいかない経験も含め、仲間と協力して最後までやり遂げたことは、私にとってとても貴重な経験です。この経験を通

して、一人ではできないことも仲間と力を合わせることで実現できるといふ、人と協力することの大切さを改めて実感しました。この経験を卒業後や社会に出たあとも活かしていきたいです。これから先、様々な人と関わる機会が増えると思うので、どんなときも「話し合い、協力する姿勢」を大切にして周りの人と助け合いながら、前向きに何事にも取り組んでいきます。



別の教室に移転したなど色々でてきた。

剣道部に入った頃、武道館はなく、体育館で区切られての練習。防具を着けたままバック宙して小手を決めるなど、常識外れの先輩もいたなあ。ロードワーク、出発したまま道草して帰ってこない連中、何してたんだか。武道館ができたのも増え、経験者も入部してきて部活らしくなってきた。三年間、たいした成績も残せなかったが、部活動の思い出は大切なものとして残っている。

荒高の持つ深い懐と仲間たちの声につつまれて、すごく恵まれた高校生活とその後の人生だったなあ。おしまい。

山形県立荒砥高等学校同窓会への支援のお願い

日頃よりの同窓会活動へのご協力、ご支援に心より感謝申し上げます。

荒砥高等学校の存続を願い、会の活動を活発化させようと取り組んでいるところですが、会の運営は大変厳しい現状です。賛助会費のご協力をお願い申し上げます。

- (1) 会費 法人 1口 1万円とし 1口以上 個人 1口 5千円とし 1口以上
 - (2) 納入方法 ゆうちょ銀行への振込
 - ①ゆうちょ銀行以外からの振込の場合
 - 店名 八五八
 - 店番 858
 - 預金種 普通預金
 - 番号 2411717
 - 口座名 山形県立荒砥高等学校同窓会
 - ②ゆうちょ銀行からの振込の場合
 - 記号 18550
 - 番号 24117171
 - 口座名 山形県立荒砥高等学校同窓会
- お振込みは、振込手数料を差し引いた額で結構です。
お問い合わせ先 (事務局) 同窓会事務局長 樋口 浩
携帯番号 090-4043-5836

協力会社： 那須建設株式会社 様 株式会社大信建設工業 様
個人： 長谷部 直 様 濱田 雅人 様 高橋 優子 様
ご協力ありがとうございます (令和8年2月9日現在)

